

宮部、長井兩氏：昆布科の新屬 (K. MIYABE et M. NAGAI: *Pleuropterum* a new genus of *Alarieae*, in Proc. Imp. Acad. Jap. viii. no. 4, p. p. 127—130, fig. 1—2, 1932.)

北海道亞寒帶の海は昆布科の種類に富みキクイシコンブ屬 (*Thalassiophyllum*) ネコアシコンブ屬 (*Arthrothamnus*) トロ、コンブ屬 (*Kjellmanniella*) アイヌワカメ屬 (*Alaria*) ザラメ屬 (*Costaria*) 等の北海特産のもの著し、著者等は北千島阿頼度島にフウチャウワカメ (一名アライトワカメ) (fig. ) を發見しアイヌワカメ族 (*Alarieae*) 中の新屬となし學名を *Pleuropterum paradiseum* MIYAB. & NAGAI とせり。

フウチャウワカメ屬 (*Pleuropterum*) は最もアイヌワカメ屬に近似せるものにして、之と分離すべき點は新屬にありては羽片に實葉と裸葉の兩種あることなり、實葉 (孢子葉) は柄條と葉狀部との漸移部に生じ形狀に於てもアイヌワカメの者に似たるが皆中肋を有せり、裸葉は實葉の下部に付き遙に長形にして美麗に羽狀裂した



フウチャウワカメ  
*Pleuropterum paradiseum*.

り、又中肋は先端に達す、裸葉の或者は往々其基部に孢子を生ずるものもあり。

之と同時に著者等は北海昆布科フロラに新しき一屬を發見せり、即ち國後島の東海岸に生ずるアツバミスヂコンブ (地方名ウマノカワ) (*Cymathaere crassifolia* DE TONI) にして Kamtchatka の海岸に産するものなり、然るに本屬の他の一種なるミスヂコンブ (*Cymathaere triplicata* J. AG.) は廣き分布をなし北太平洋に於て Puget Sound, Bering Island より北千島の占守島、阿頼度島、Paramushir, Shimushir, Etorofu の諸島に分布すと云ふ。(G. KOIDZUMI)